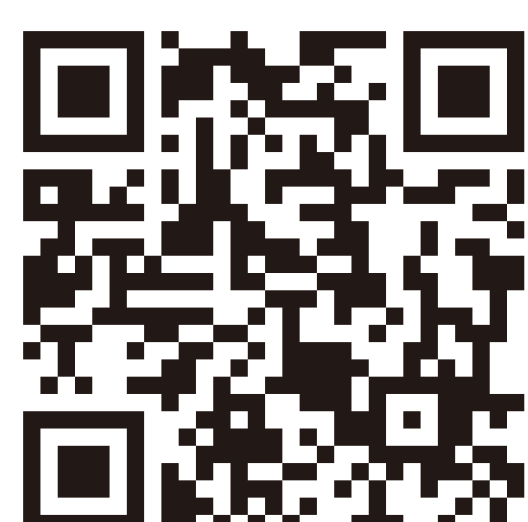


飲むムラ野村を、造って飲んで復興支援

緒方らば



本プロジェクトで新生した
NEO「緒方洪庵」の
ご予約・ご購入はこちら



愛媛県の西南部に位置する野村町。「飲むムラ野村」がキャッチフレーズの西予市の山あいに位置するのどかな町です。そんな野村を、あの日、豪雨が襲いました。2018年7月7日の西日本豪雨災害では、ダムの緊急放流によって町全体が水没。その結果、野村は5名もの方の尊い命が失われるという、大きな被害を受けました。

被害を受けた野村町中心部の建物の中には、野村の地域づくりにおいて主導的役割を果たしてきた「緒方酒造」もありました。

創業宝暦3年（1753年）、江戸時代から続く由緒正しいこの酒造では、清酒「東洋一」・焼酎「蓮」などの代表銘柄のほか、同家にゆかりの「緒方洪庵」「緒方惟貞」「児島惟謙」など歴史人物名を冠した日本酒をつくっていました。しかしながら、西日本豪雨で大きな被害に遭い、緒方酒造は酒造りの歴史を閉じることとなりました。

未来共創センターのオープンプロジェクト「緒方らば」は、この歴史ある本家緒方酒蔵を文化拠点とした地域づくりに、野村地域自治振興協議会、愛媛大学社会共創学部と一緒に取り組んでいます。本プロジェクトでは、緒方酒造の日本酒「緒方洪庵」を引き継ぎ、復興のシンボルとしてNEO「緒方洪庵」を醸造し、野村のまちづくりに役立てる試みを行い、その経過の記録と分析をしています。

「緒方らば」の活動は、さらに広がりを見せています。これまでの活動が評価され、2022年5月には「がいなんよ大学 in のむら」が本家緒方酒蔵を拠点として実施されました。このイベントは、セミナーや講習会、ワークショップを通して地域を盛り上げていく人材を育てる、大学と地域が連携してつくる市民の学びあいの場です。「緒方らば」は、これからもさまざまな共創を通して、地域の「きずな」の醸成に貢献したいと考えています。



▲これまで実施したイベント・講演会等のチラシ。緒方らばは、これからも野村地域における教育・研究・地域貢献活動に取り組んで参ります。

緒方らばは、



NEOのむら
NEO Nomura

として活動しています。最新情報は、



でご確認ください。